



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番6号 コンセーレ (栃木県青年会館)
 CONCERE 1-1-6 KOMANYU UTSUNOMIYA CITY TOCHIGI JAPAN 320-0066

(2015~2016) ROTARY CLUB OF UTSUNOMIYA SATSUKI

TEL 028-624-1417 FAX 028-624-1843 URL <http://www.facebook.com/satsukiRC>

宇都宮さつきロータリークラブ 会報
 第 69 回 例会

日 時:2016年2月8日(月)

19:00~20:00

会 場: コンセーレ

・開会 渡邊 正芳 SAA

・点鐘 夏目 公彦 会長

・ロータリーソング (奉仕の理想) 斉唱

・ビジター紹介 夏目 公彦 会長

中谷 研一ガバナー (足利東RC) 戸塚 守 (足利東RC)
 佐藤 節 特別代表 (宇都宮陽北RC) 塩田 潔 (宇都宮南RC)
 山本 敬三 (宇都宮南RC) 藤島 拓 (宇都宮南RC)
 青木 克浩 (宇都宮南RC) 磯 賢次 (宇都宮北RC)

・会長挨拶 夏目 公彦 会長

先週の例会は、石川さんの御好意によりスマイルプラザで移動例会となりました。広い空間での例会で良かったなと思いました。ありがとうございました。

北朝鮮のミサイル発射のニュースや台湾で大きな地震がおきたり、桜島が噴火したりと世の中が騒がしく感じるお休みでした。地震のお話を少ししたいと思います。台湾には何度か訪れた事があり、職業柄、街を歩いていても自然と建設現場があれば目が行きます。台湾の建物は、日本の柱の半分くらいしかなく日本ではコンクリートが回らないくらい鉄筋が入りますが、台湾の建物の鉄筋はスカスカです。柱をマッチ棒の軸に例えればマッチ棒を上から力を加えると結構丈夫ですが横から力を加えるとすぐに折れてしまいます。それなりに柱の太さがなければ地震力に対して踏ん張ることが出来ません。1995年の阪神淡路大震災では6500名の方が亡くなりました。その時壊れた建物が昭和56(1981)年旧耐震基準で造られた建物です。昭和56年以降、新耐震基準で造られた建物は壊れていません。アジア圏内の建物は、ほとんどが細い柱で造られているため大きな地震がくれば壊れます。3.11の時に世界各国の義援金で台湾が1番だったことは皆さんご存知ですか?当クラブも今度はお返しをしたいと思いますがいかがでしょうか。

今日は、内仲国際委員長のご紹介により、国際奉仕委員会委員長代理 戸塚守様より外部卓話を頂きます。飛び入りで中谷ガバナーもおいで頂きありがとうございます。どうぞ宜しくお願い致します。

Be a gift to the world
 世界へのプレゼントになろう

・幹事報告

湯澤 敦史 幹事

- ・国際奉仕の関するガバナー事務所からの連絡について
タイ、フィリピンより情報提供がありました。
- ・昨年9月の水害義援金贈呈の報告
義援金は7,240,000円集まりました。
日光市、鹿沼市、小山市、栃木市へ1,810,000円をお渡しします。
- ・ロータリー手帳の予約について
希望者は、幹事へ申込みください。まとめて購入します。

・委員会報告

佐藤 節 特別代表

- 1 ロータリー財団の次年度奨学生が内定しました。
- 2 会報発行について
宇都宮陽北RCでは、例会から2週間後に発行しています。
今後の予定を掲載しています。

葆東 雅仁 社会奉仕委員長

4月9日（日）鬼怒グリーンパークで社会奉仕活動を実施します。
また、観桜会を開催しますのでよろしくお願いいたします。

・スマイル報告

大庭 千鶴 出席委員

- ・佐藤 節（宇都宮陽北RC）ご無沙汰しました。今日は連絡があり来ました。よろしく
- ・夏目 公彦（宇都宮さつきRC）国際奉仕委員会委員長代理 戸塚守様、卓話よろしく
お願いいたします。
- ・渡邊 正芳（宇都宮さつきRC）会員の皆様、SAAへの協力本当にありがとうございます。

・出席報告

小堀 彰久 出席委員

会員総数 25名 出席者 17名 出席率 68%



この日の食事は、カレーライス

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう



国際奉仕委員会 戸塚 守 様 (足利東RC)

国際奉仕活動の状況

- ・第 2550 地区
 - 活動が少ないのが現状である。
 - 国際理解、親善親睦を図るためのものである。
 - ロータリーの本質である。
- ・どのように活動したら良いのか
 - 各クラブに情報提供を行う。
 - 各クラブが独自に実施して、地区委員会がサポートを行う。
- ・今年度の活動
 - タイ 姉妹クラブの要請、中古消防車を贈る。
 - フィリピン グローバル補助金を活用した水の供給
子どもの健康と栄養プログラムなど
- ・R I 本部では
 - 「水と衛生」シンポジウム フィリピンマニラ、ケソン市
- ・文化の違い、リスク、トラブル
 - 現地の人と共に汗を流す活動を目指したい。
 - 信頼関係を作り出す。
 - 何度も訪問を重ね、しっかりとしたパートナーシップを作り出す。
 - お金だけではない活動を！
 - 中谷ガバナーとは、10 数年来活動している。

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

- ・1 歩踏み出して
現地視察→親交を深める→姉妹クラブ締結→グローバル補助金を使って奉仕活動
第 2550 地区では、これまで 2 回の実績しかない。
予算は、10 万ドルある。
- ・会員同士の絆も生まれる。宇都宮さつき RC は、世界に飛躍して欲しい！

中谷 研一ガバナー（足利東 RC）

- ・24 年間フィリピンで国際奉仕活動を行っている。
- ・1992 年に医療奉仕活動を開始した。
- ・関谷医師、妻と二人で始めたのがきっかけだったが、ずっと思い描いていた。
- ・貧しい人、ストリートチルドレン、売春など
- ・これは、ロータリークラブでチャンスを得た。

まずは、現地へ行ってメイクをすることが大切。
ロータリーの友情を育み、それからプロジェクトを考える。



中谷 研一ガバナー（足利東 RC）

貴重なお話、ありがとうございました。

・点鐘

夏目 公彦 会長

・閉会

渡邊 正芳 SAA

Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう